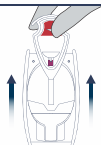


**ご使用前に
お読み
ください**

本キットの取扱い及び検査対象物の取扱い時には、保護措置として手袋及びゴーグルの装着が必要です。ユニットに穿孔しないでください。一旦ロックしたプローブは取り外さないでください。万が一内包液体が漏れた場合、液体の付着した箇所を水で洗い流してください。子供の手の届かない場所で保管ください。全て推奨結果となります。必要に応じて、薬物検査機関にて検査を行うことにより詳細な識別を行う事ができます。

テストの準備

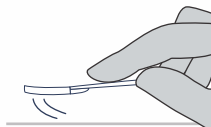
1 Smart-Tip™
プローブを取り外し
てください。



2 疑わしい物質もしくは物体表面からサンプルを採取
(植物性物質には使用しないでください)

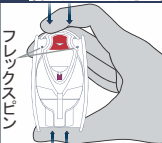
パウダーまたは疑わしい物体の場合

Smart-Tip™ プローブ
で疑わしい物質
またはで疑わしい物体
表面をぬぐいます
(トレース)。



テストの準備

3 Smart-Tip™
プローブをテスト
ユニットに固定し
ます。しっかりと
押し込んで下さい。



注意

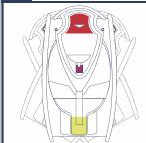
プローブがフレック
スピンで固定されな
いままテストを行わ
ないでください。

チェンバー1での検査

4 親指を押し込んで
チェンバー1内の
カプセルを
割ります。



5 テストユニットを
2~3秒やさしく
シェイクします。



チェンバー1の検査結果



採取時のパウダーが茶色の場合、
正面か裏のウインドウが左記の色(紫色)
を示すとヘロインが検出されたことを示します。



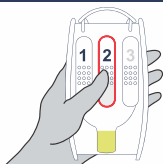
数秒以内に緑色または青緑色へ変色した場合は、
Crack(コカインベース)の存在を示しています。



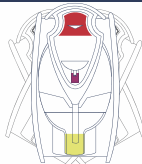
いずれかの発色があった場合はそのまま廃棄して下さい。
発色が無かった場合はステップ6へ進みます。

チェンバー2での検査

6 親指を押し込んで
チェンバー2内
のカプセルを割ります。



7 テストユニットを
2~3秒やさしく
シェイクします。



サイド 2 に続く



サイド2

チェンバー2の検査結果

数秒以内に赤紫色へ変色すれば、
これらの疑いのある薬物が存在することを示します。



ヘロイン、アンフェタミン、メタンフェタミン、
エクスタシー/MDMA、ベンゼドロン、プフェドロン、
カルフェンタニル、カチノン、DMT、EAPB、フェンタニル、
ケタミン、LSD、mCPP、MDMAI、MDPBP、MDPV、
メフェドロン、メタドン、メカチノン、メチロン、
メキシドロン、MPA、PCP、ペンテドロン、ペンチロン、
PMA、PMMA、シロシビン、2-アミノインダン(2-AI)、
その他の合成/デザイナーズ・ドラッグ。



数秒以内に緑色または青緑色へ変色した場合、
コカインが存在することを示します。



1分以内に上記の色が出なければ、
上記の薬物は存在しません。



廃棄方法

使用済みテストキットは一般ごみとして廃棄可能です。

JPN
0732

オンラインアクセス

オンライン説明書

<https://adva-tech.co.jp/tkm/>



重要事項

1. IDenta Touch&Know[™] Discreet Drug Test Kitsは、粉末や結晶などの物質中の特定の薬物の存在を測定するために使用されます。
2. すべての結果は推定です。必要に応じて、有能な薬物検査室による更なる検査で、さらなる検証を行うことができます。
3. 色の変化は、最初の1分間で起こった場合のみ、リストに記載された薬物の陽性結果を示す。
4. 最初の1分間で色の変化がない場合、リストに記載されてある薬物は検査対象サンプルに含まれていません。
5. 1分後、サンプラーと液体が変色し始めることがありますが、これは検査過程の正常な部分であり、この色の変化には意味はありません。

重要事項